【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【公開番号】特開2007-22666(P2007-22666A)
【公開日】平成19年2月1日(2007.2.1)
【年通号数】公開・登録公報2007-004
【出願番号】特願2005-202562(P2005-202562)
【国際特許分類】
Ｂ６６Ｂ　3/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６６Ｂ　3/00　R
Ｂ６６Ｂ　3/00　G

【手続補正書】
【提出日】平成19年10月5日(2007.10.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
エレベーターの運行を制御する運行制御装置から前記エレベーターのかご位置に関する情報を記憶した運行データを読み出すステップと、時刻に対する各エレベーターのかご位置情報を含む運行状態を表示装置の画面に表示するステップを備えたエレベーターの運行状況表示方法において、前記運行データに基き、予定の目標に沿ってホール呼びへ割当て制御中の各エレベーターの、時刻に対する目標かご位置を記憶するステップと、各エレベーターの前記かご位置情報と異なる表示形態で、各エレベーターの目標ルートを表示するステップを備えたことを特徴とするエレベーターの運行状況表示方法。
【請求項２】
請求項１において、前記目標ルートを記憶するステップは、各エレベーターの目標ルートの開始時刻及び位置と、終了時刻及び位置とを含めて記憶し、前記目標ルートを表示するステップは、前記開始時刻の位置から、前記終了時刻の位置までを繋ぎ、前記かご位置情報と異なる表示形態で表示することを特徴とするエレベーターの運行状況表示方法。
【請求項３】
請求項１において、前記目標ルートの変更が生じたとき、前記表示装置の画面上の変更時刻の近傍に、前記目標ルートの変更を示す変更マークを表示するステップを備えたことを特徴とするエレベーターの運行状況表示方法。
【請求項４】
請求項１において、前記かご位置と前記目標ルートとの間に所定範囲以上の差が生じたとき、前記表示装置の画面上の前記差が生じた時刻の近傍に、前記差の発生を示すマークを表示するステップを備えたことを特徴とするエレベーターの運行状況表示方法。
【請求項５】
エレベーターの運行を制御する運行制御装置から前記エレベーターのかご位置に関する情報を記憶した運行データを読み出すステップと、時刻に対する各エレベーターのかご位置情報を含む運行状態を表示装置の画面に表示するステップを備えたエレベーターの運行状況表示方法において、前記運行データに基き、予定の目標に沿ってホール呼びへ割当て制御される各エレベーターが、夫々の時刻にサービス可能な階床を記憶するステップと、各エレベーターの前記かご位置情報と異なる表示形態で、各エレベーターが夫々の時刻に

サービス可能な階床位置を表示するステップを備えたことを特徴とするエレベーターの運行状況表示方法。

【請求項６】

エレベーターの運行を制御する運行制御装置から前記エレベーターのかご位置に関する情報を記憶した運行データを読出す手段と、時刻に対する各エレベーターのかご位置情報を含む運行状態を表示装置の画面に表示する表示制御手段を備えたエレベーターの運行状況表示装置において、前記運行データに基き、予定の目標に沿ってホール呼びへ割当て制御中の各エレベーターの、時刻に対する目標かご位置を記憶する手段と、各エレベーターの前記かご位置情報と異なる表示形態で、各エレベーターの目標ルートを表示する手段を備えたことを特徴とするエレベーターの運行状況表示装置。

【請求項７】

請求項６において、各エレベーターの目標ルートを表示する手段は、各エレベーター毎に異なる色に色分けして表示する手段を備えたことを特徴とするエレベーターの運行状況表示装置。

【請求項８】

請求項６において、前記目標ルートを表示する手段は、目標かご位置の軌跡として、前記目標ルートを画面に表示する手段を備えたことを特徴とするエレベーターの運行状況表示装置。

【請求項９】

請求項６において、前記目標ルートを記憶する手段は、各エレベーターの目標ルートの開始時刻及び位置と、終了時刻及び位置とを含めて記憶する手段を備え、前記目標ルートを表示する手段は、前記開始時刻の位置から、前記終了時刻の位置までを繋ぎ、前記かご位置情報と異なる表示形態で表示する手段を備えたことを特徴とするエレベーターの運行状況表示装置。

【請求項１０】

請求項６において、前記目標ルートの変更が生じたとき、前記表示装置の画面上の変更時刻の近傍に、前記目標ルートの変更を示す変更マークを表示する手段を備えたことを特徴とするエレベーターの運行状況表示装置。

【請求項１１】

請求項６において、前記かご位置と前記目標ルートとの間に所定範囲以上の差が生じたとき、前記表示装置の画面上の前記差が生じた時刻の近傍に、前記差の発生を示すマークを表示する手段を備えたことを特徴とするエレベーターの運行状況表示装置。